

令和4年度第2回 インターネット都政モニターアンケート

「東京と都政に対する関心」

調査結果



調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ
東京と都政に対する関心
- 2 アンケート目的
「東京都居住意向」「都政の満足感」「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とする。
- 3 アンケート期間
令和4年7月27日（水曜日）から8月2日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数
500人
- 6 回答者数
494人
- 7 回答率
98.8%

東京と都政に対する関心

1 調査項目

- Q 1 東京都居住年数
- Q 2 東京都居住意向
- Q 3 東京は魅力的な都市か
- Q 4 東京の良いところ（長所）
- Q 5 東京の良くないところ（短所）
- Q 6 東京への愛着
- Q 7 東京への誇り
- Q 8 関心を抱いた都政の出来事
- Q 9 都政の親近感
- Q 10 都政の満足感
- Q 11 満足の理由
- Q 12 不満の理由
- Q 13 東京都が取り組むべき分野

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	494	-	98.8
性 別	男性	250	248	50.2	99.2
	女性	250	246	49.8	98.4
年 代 別	18・19歳	9	8	1.6	88.9
	20代	64	63	12.8	98.4
	30代	83	81	16.4	97.6
	40代	93	93	18.8	100.0
	50代	85	84	17.0	98.8
	60代	78	77	15.6	98.7
	70歳以上	88	88	17.8	100.0
職 業 別	自営業	51	51	10.3	100.0
	常勤	221	217	43.9	98.2
	パート・アルバイト	46	46	9.3	100.0
	主婦・主夫	92	91	18.4	98.9
	学生	27	26	5.3	96.3
	無職	63	63	12.8	100.0
居住地域別	東京都区部	343	338	68.4	98.5
	東京都市町村部	157	156	31.6	99.4

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) = いくつでも選択、(3MA) = 3つまで選択、(2MA) = 2つまで選択

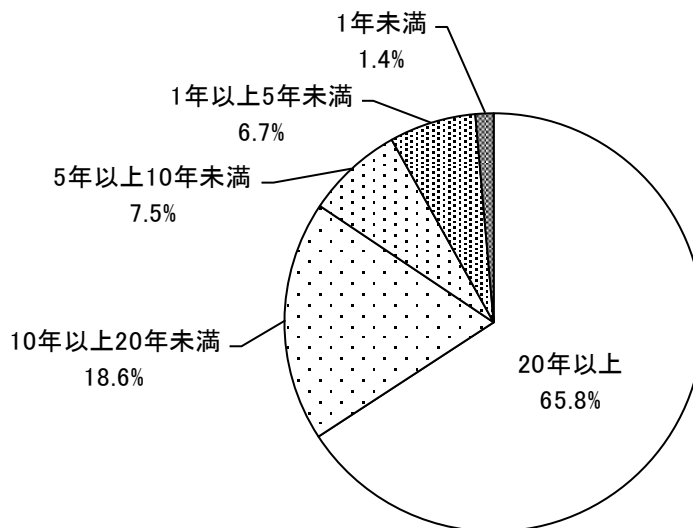
今回のアンケート調査は、「東京都居留意向」や「都政の満足感」、「東京都が取り組むべき分野」などについて毎年調査し、東京と都政に対する関心や意識の変化を経年的に探り、今後の都政運営の参考とするものです。



東京都居住年数

Q1 あなたは、東京都に通算でどのくらいの期間住んでいますか。

(n = 494)

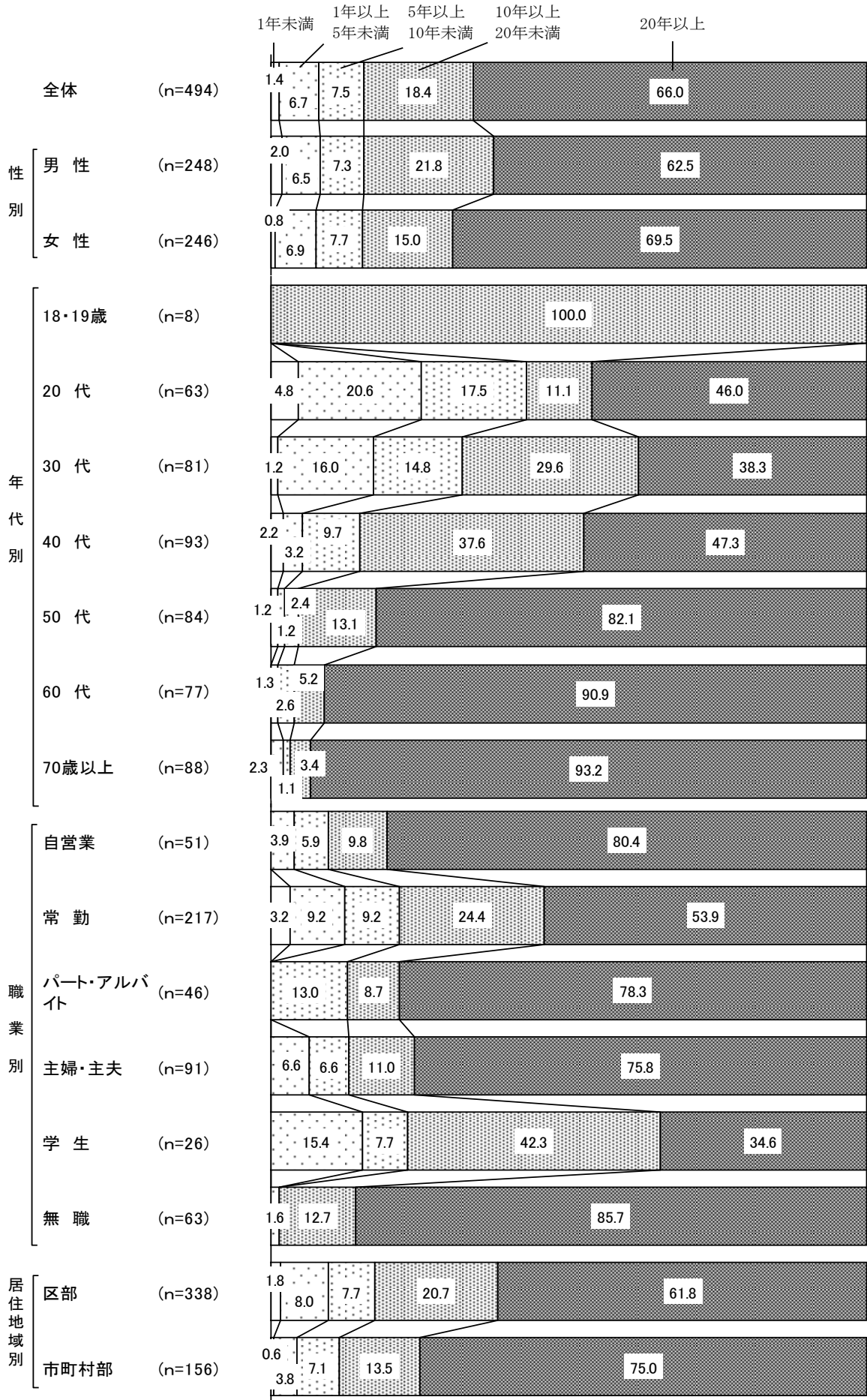


【調査結果の概要】

東京都に通算でどのくらいの期間住んでいるか聞いたところ、「20年以上」（65.8%）が6割半ばで最も高く、「10年以上20年未満」（18.6%）が2割近くであった。

8割半ばの人が10年以上住んでおり、長期に渡り居住する人が多数であった。

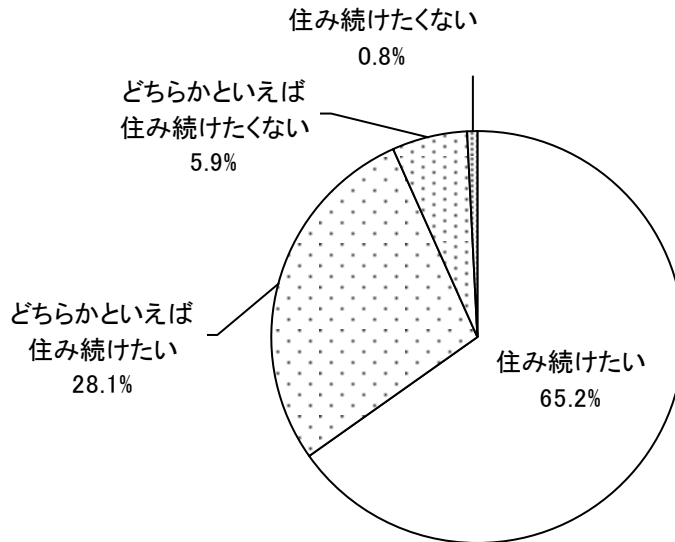
◎ 東京都居住年数（属性別）



東京都居住意向

Q2 あなたは、今後、東京都に住み続けたいと思いますか。

(n = 494)



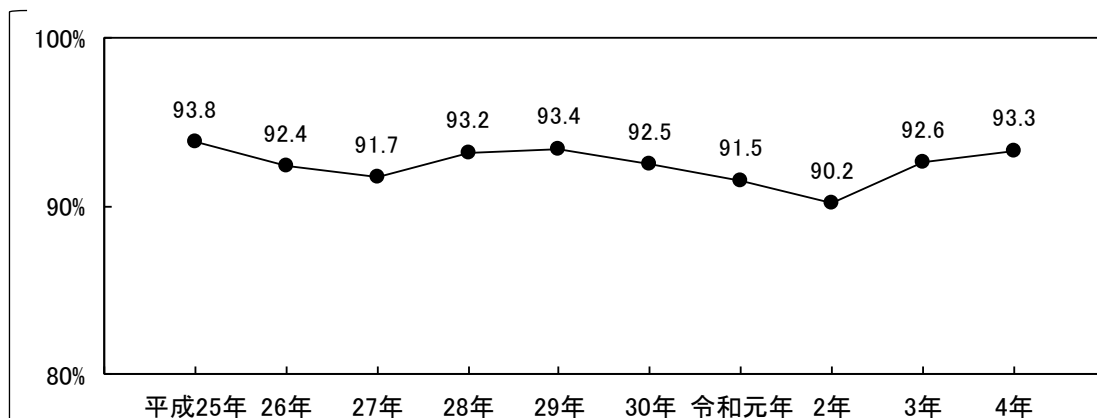
【調査結果の概要】

今後、東京都に住み続けたいか聞いたところ、『住み続けたい』(93.3%) (「住み続けたい」(65.2%)、「どちらかといえば住み続けたい」(28.1%))が9割超であり、『住み続けたくない』(7.4%) (「どちらかといえば住み続けたくない」(5.9%)、「住み続けたくない」(0.8%))は1割未満であった。

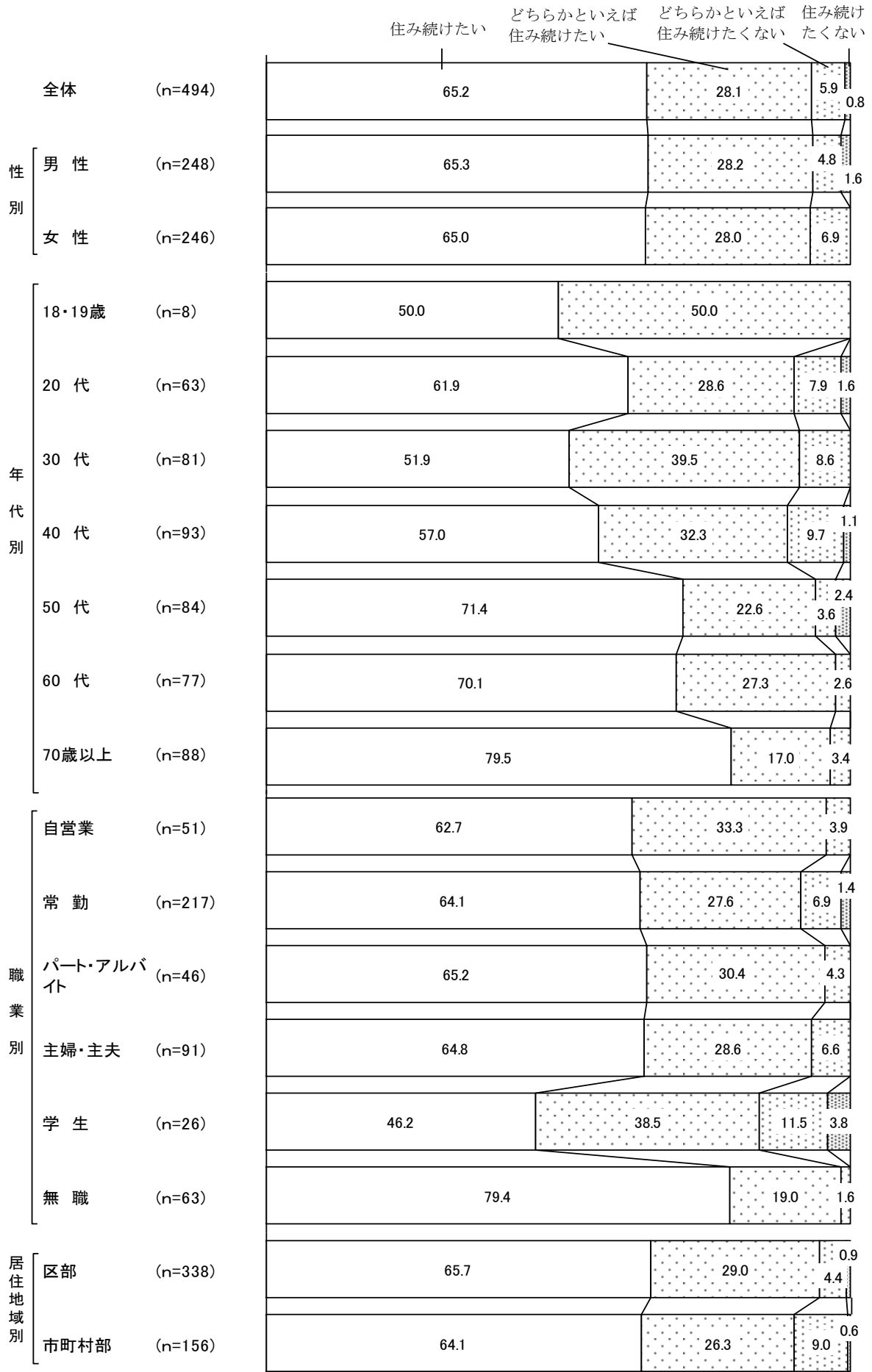
大多数の人が今後も東京都に住み続けたいとの意向であった。

経年変化では、前年度に比べて『住み続けたい』が0.7ポイント増加し、ほぼ横ばいとなった。

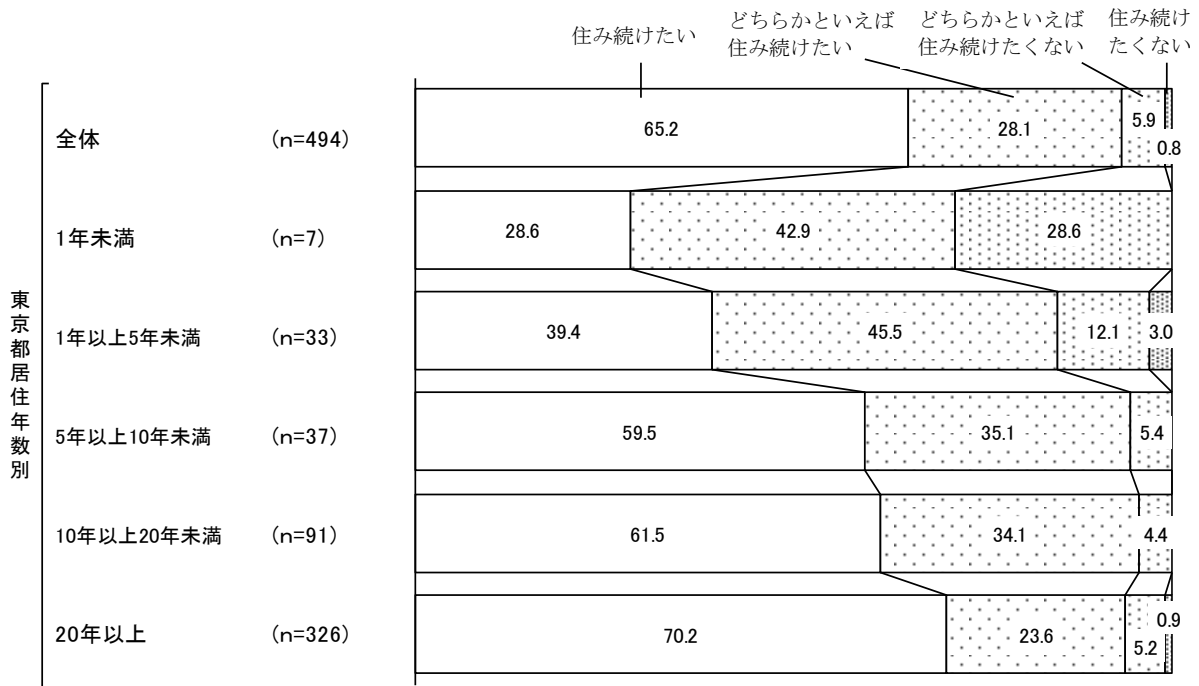
◎東京都に『住み続けたい』の経年変化(平成25年度～令和4年度)



◎東京都居住意向（属性別）



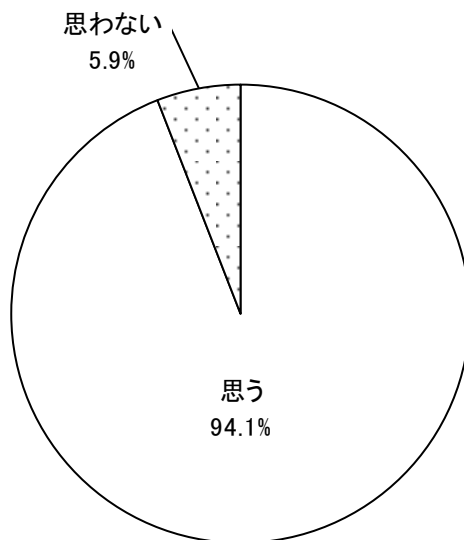
◎東京都居住意向（東京都居住年数別）



東京は魅力的な都市か

Q 3 あなたは、東京は魅力的な都市だと思いますか。

(n = 494)



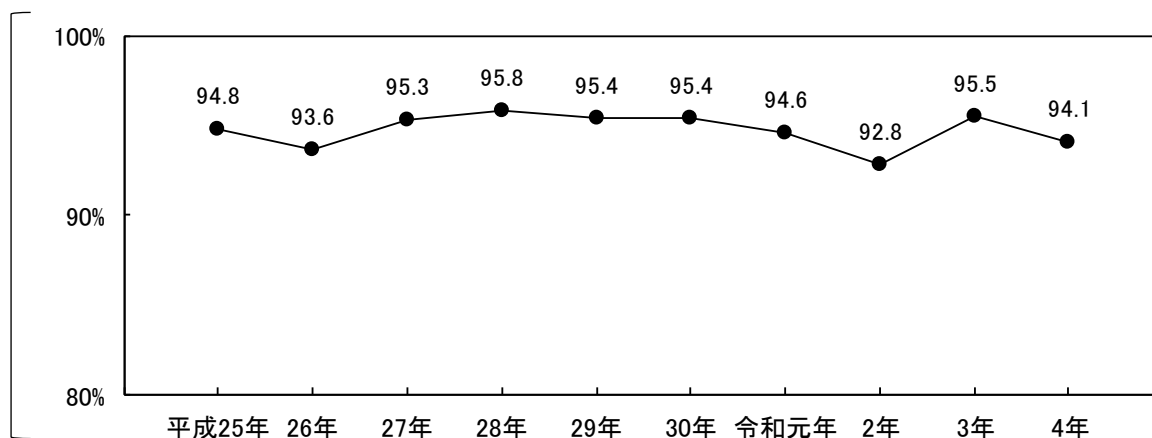
【調査結果の概要】

東京は魅力的な都市か聞いたところ、「思う」(94.1%)が9割半ばで、「思わない」(5.9%)は1割未満であった。

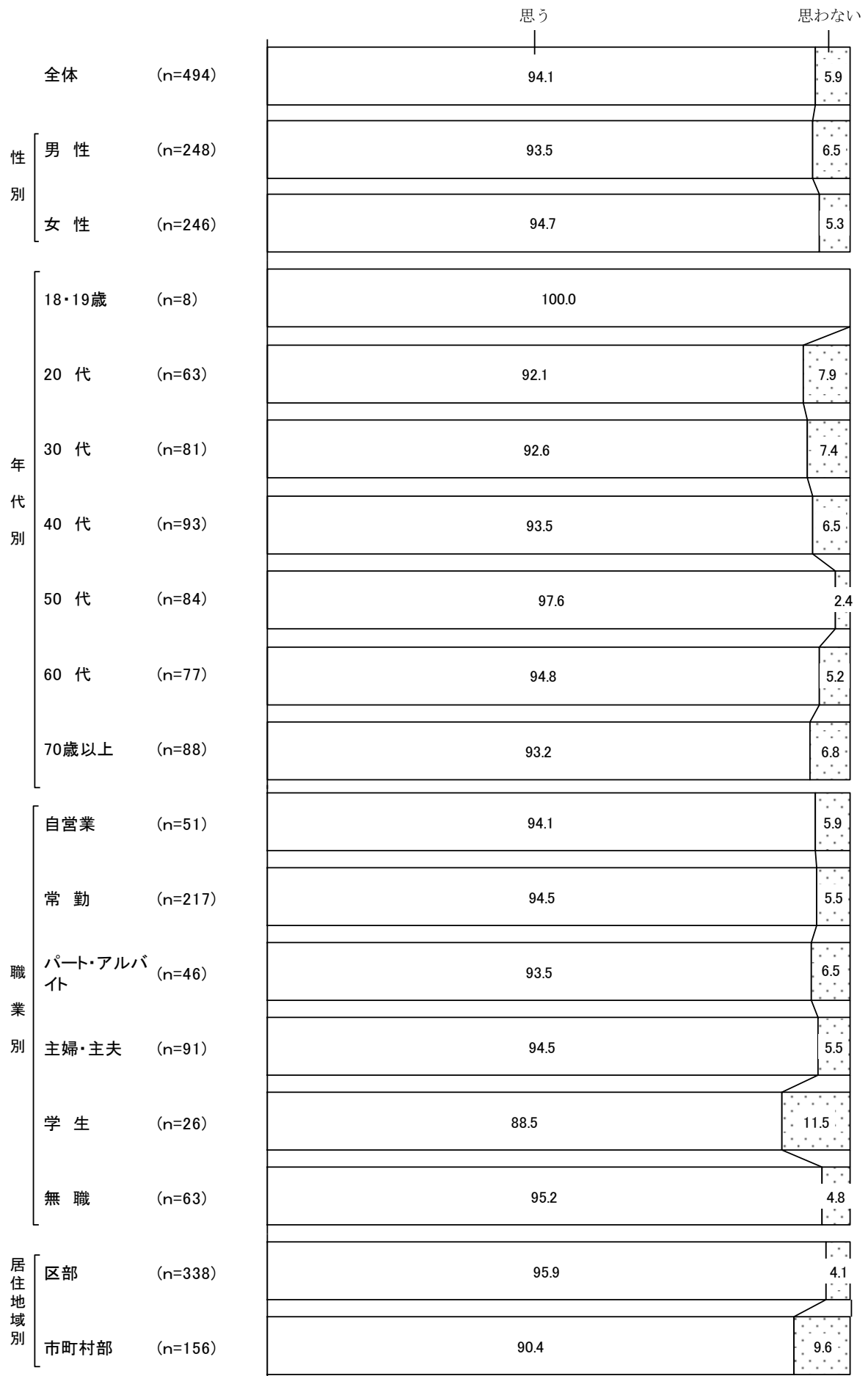
大多数の人が東京は魅力的な都市との意見であった。

経年変化では、前年度に比べて「思う」が1.4ポイント減少し、前年度の上昇傾向から下降に転じた。

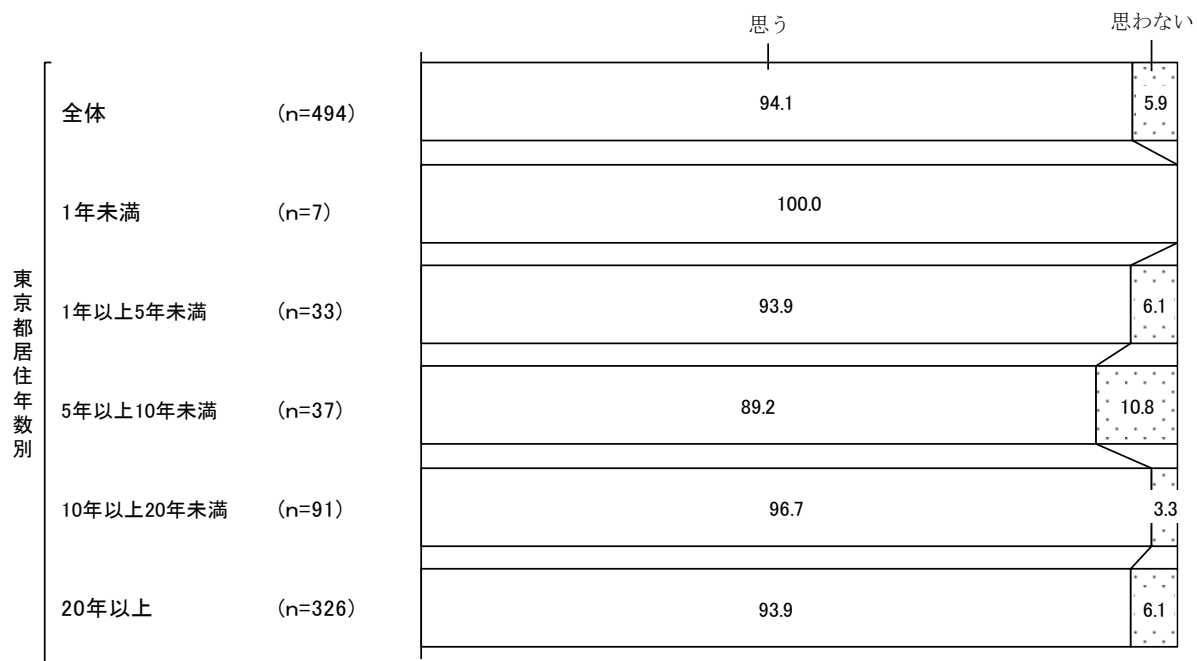
◎東京は魅力的な都市だと「思う」の経年変化(平成25年度～令和4年度)



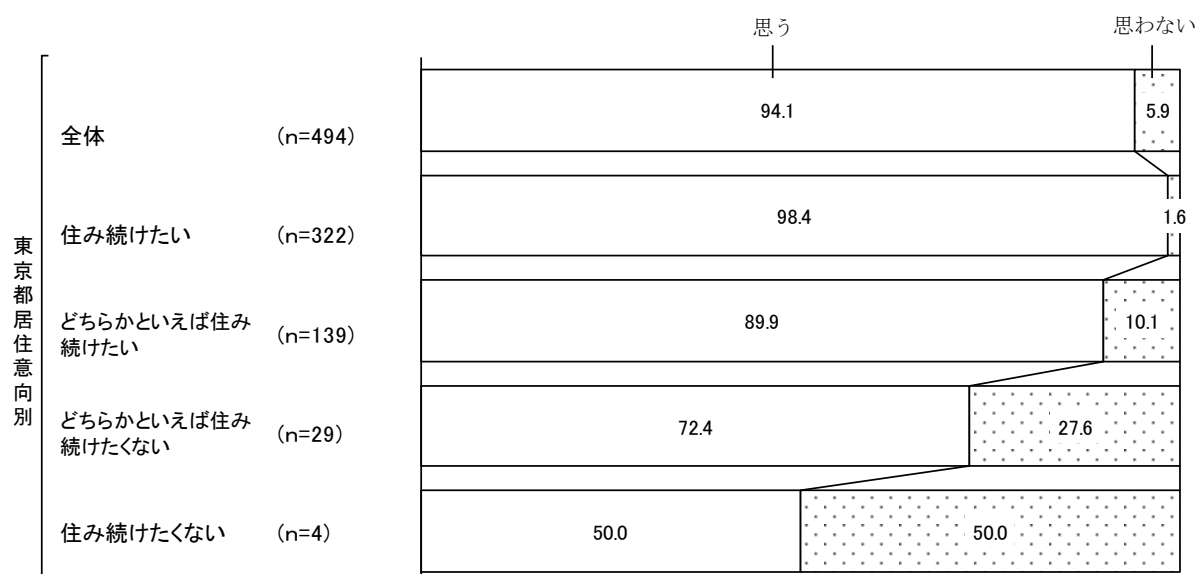
◎東京は魅力的な都市か (属性別)



◎東京は魅力的な都市か（東京都居住年数別）



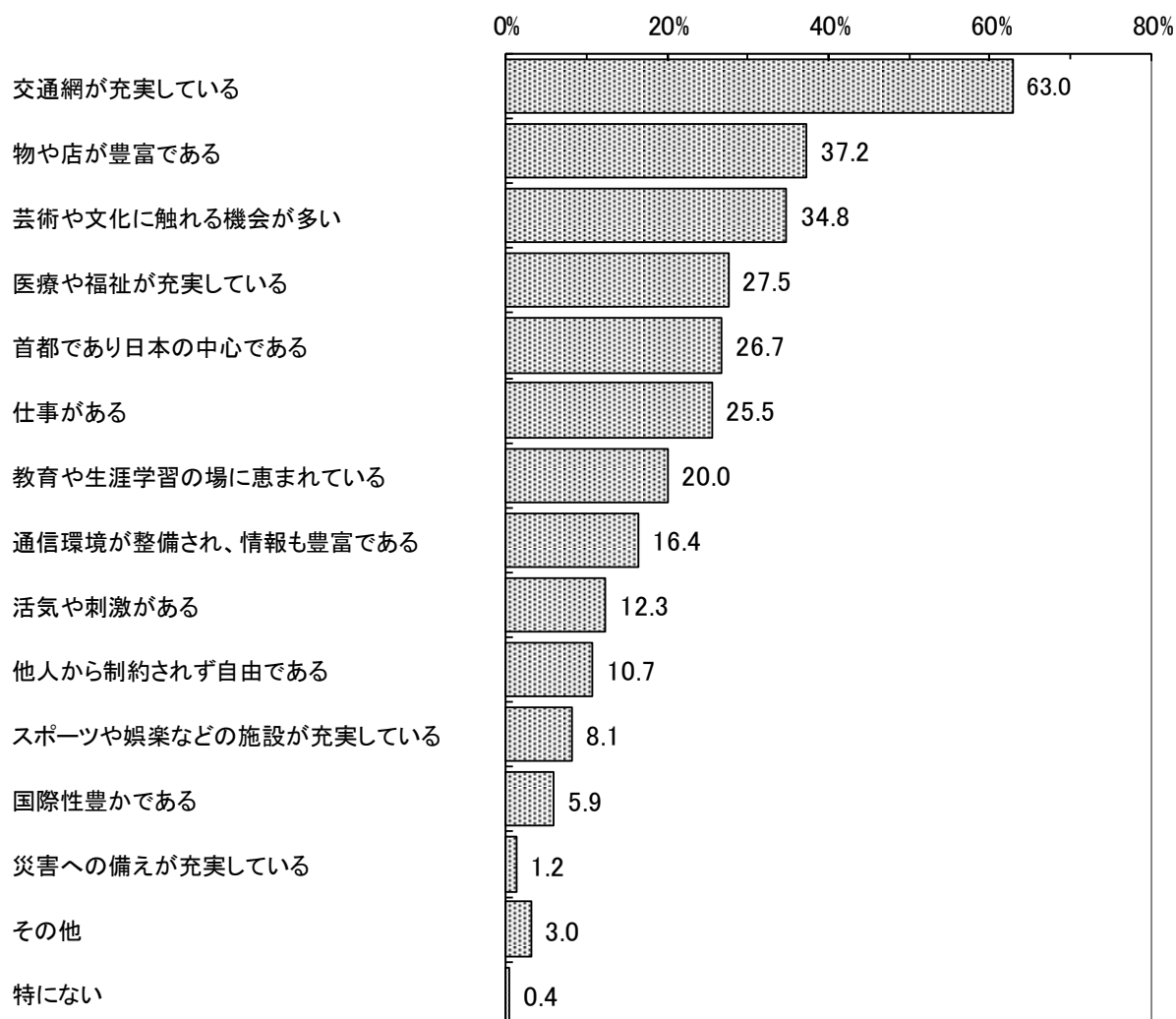
◎東京は魅力的な都市か（東京都居住意向別）



東京の良いところ（長所）

Q 4 東京の良いところ（長所）は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)

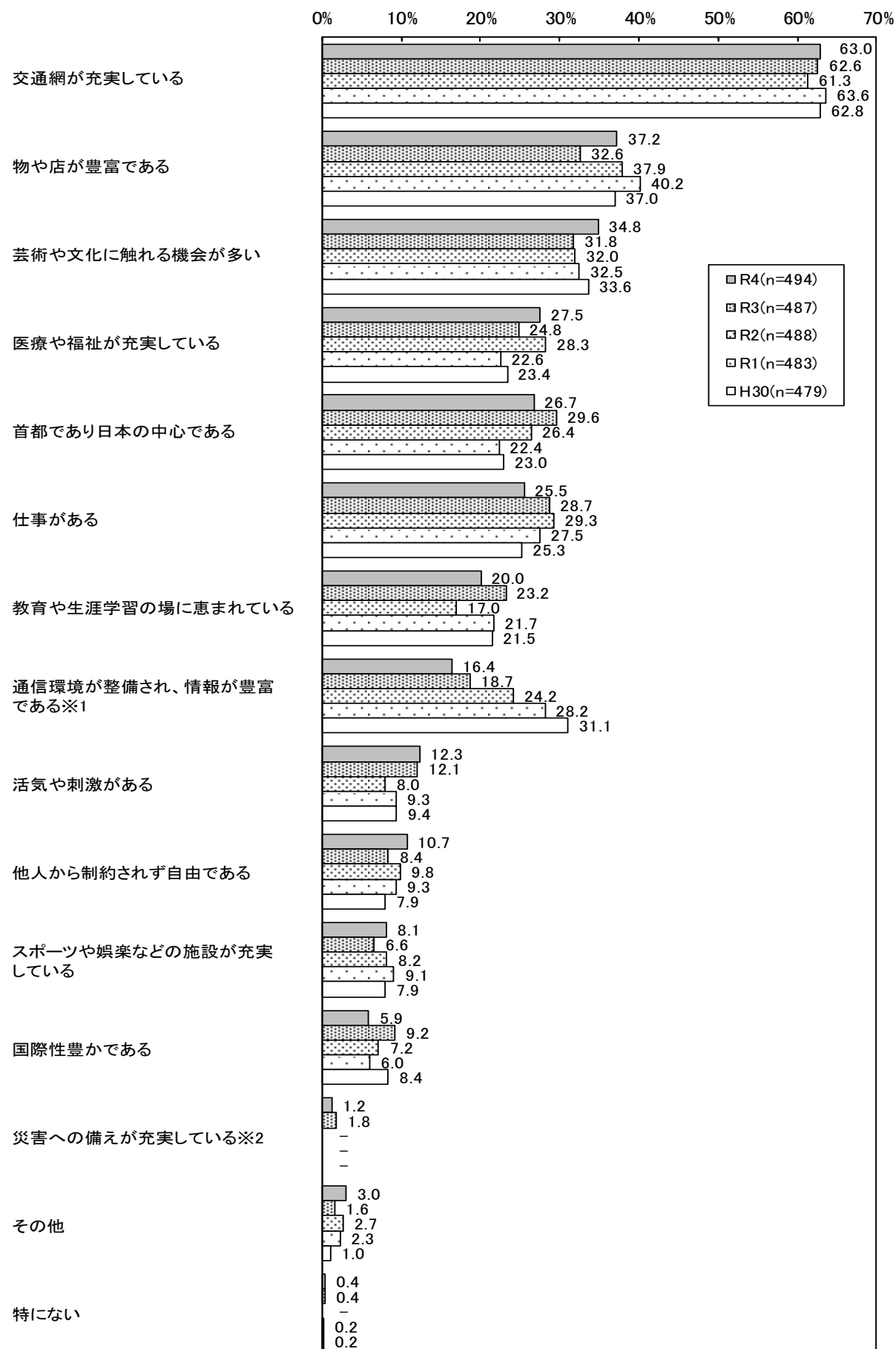


【調査結果の概要】

東京の良いところ（長所）について聞いたところ、「交通網が充実している」（63.0%）が6割を超えて最も高く、以下、「物や店が豊富である」（37.2%）、「芸術や文化に触れる機会が多い」（34.8%）などと続いている。

上位3位は前年度と同じである。経年変化（次頁）では、「医療や福祉が充実している」が前年度から2.7ポイント増加して6位から4位となり、前年度の下降傾向から上昇に転じた。

◎東京の良いところ（長所）の経年変化（平成30年度～令和4年度）



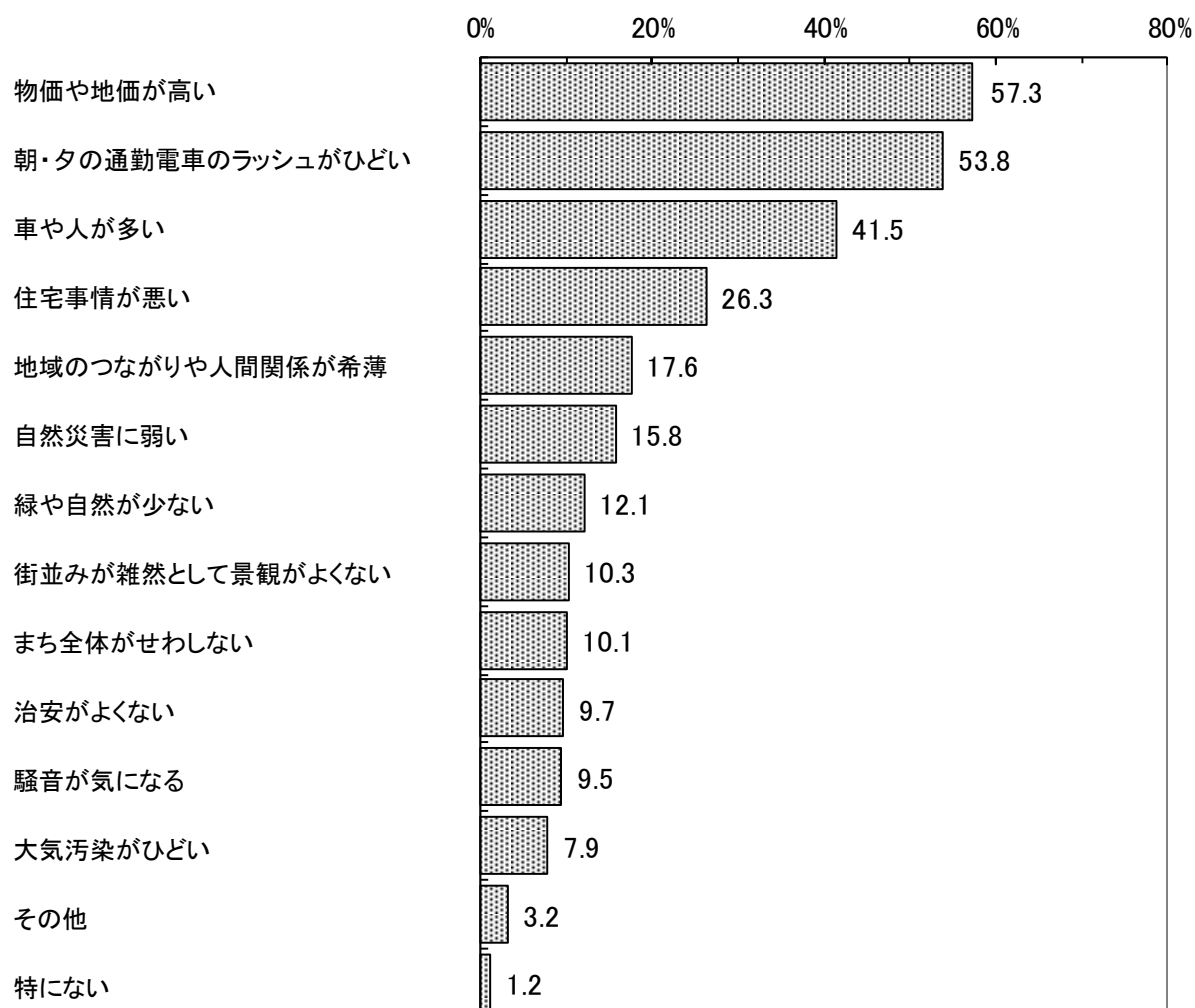
※1 令和2年度までは「情報が豊富である」で集計

※2 令和3年度から集計

東京の良くないところ（短所）

Q 5 東京の良くないところ（短所）は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)

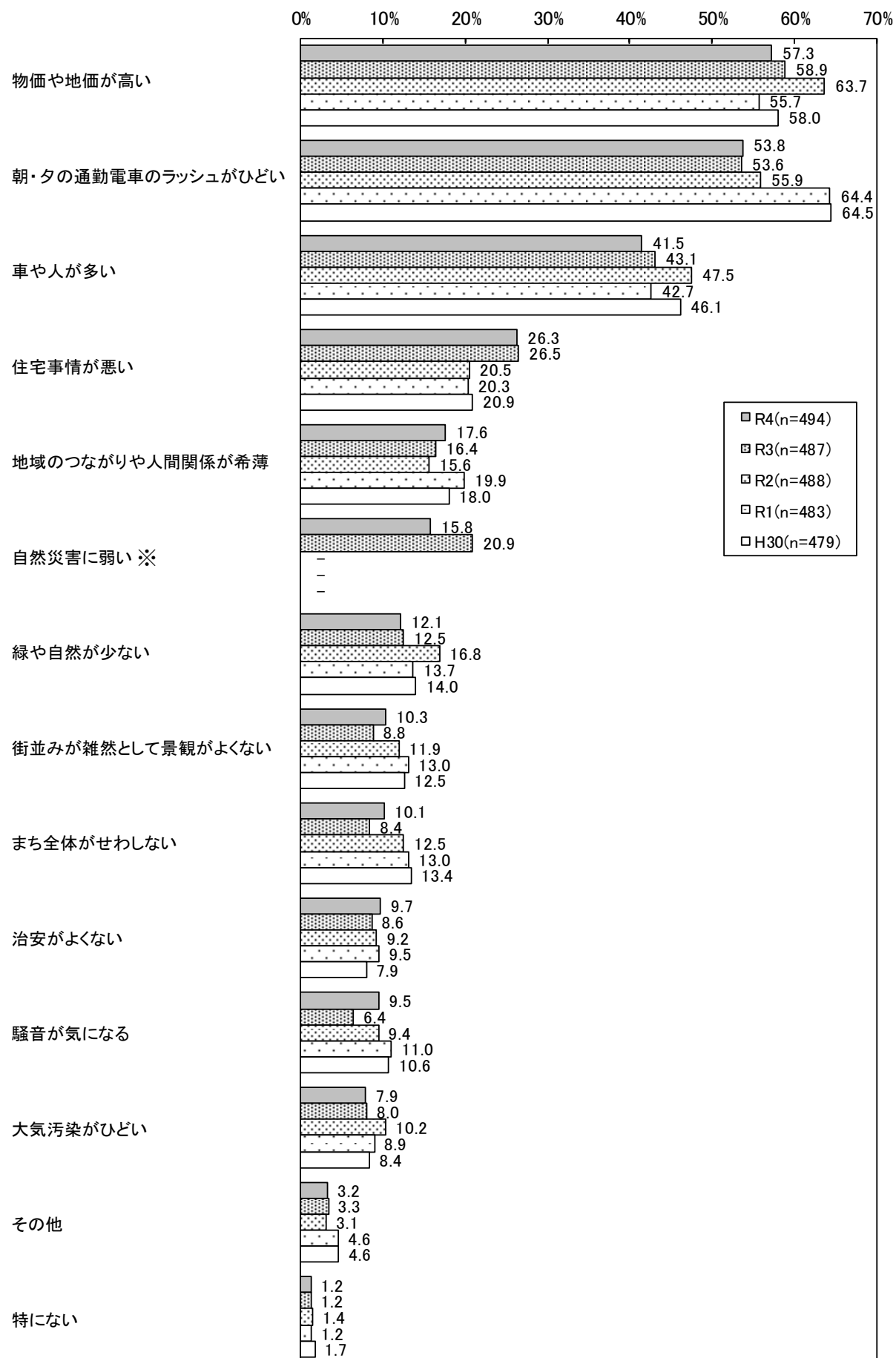


【調査結果の概要】

東京の良くないところ（短所）について聞いたところ、「物価や地価が高い」（57.3%）が6割近くで最も高く、以下、「朝・夕の通勤電車のラッシュがひどい」（53.8%）、「車や人が多い」（41.5%）などと続いている。

上位4位は前年度と同じである。経年変化（次頁）では、「地域のつながりや人間関係が希薄」の割合が令和2年度からわずかに上昇傾向にある。

◎東京の良くないところ（短所）の経年変化（平成30年度～令和4年度）

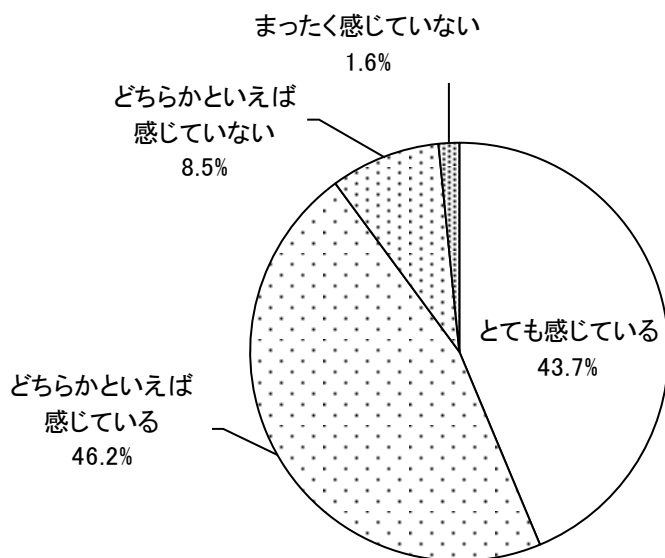


※ 令和3年度から集計

東京への愛着

Q 6 あなたは、都民として、東京に愛着を感じていますか。

(n = 494)

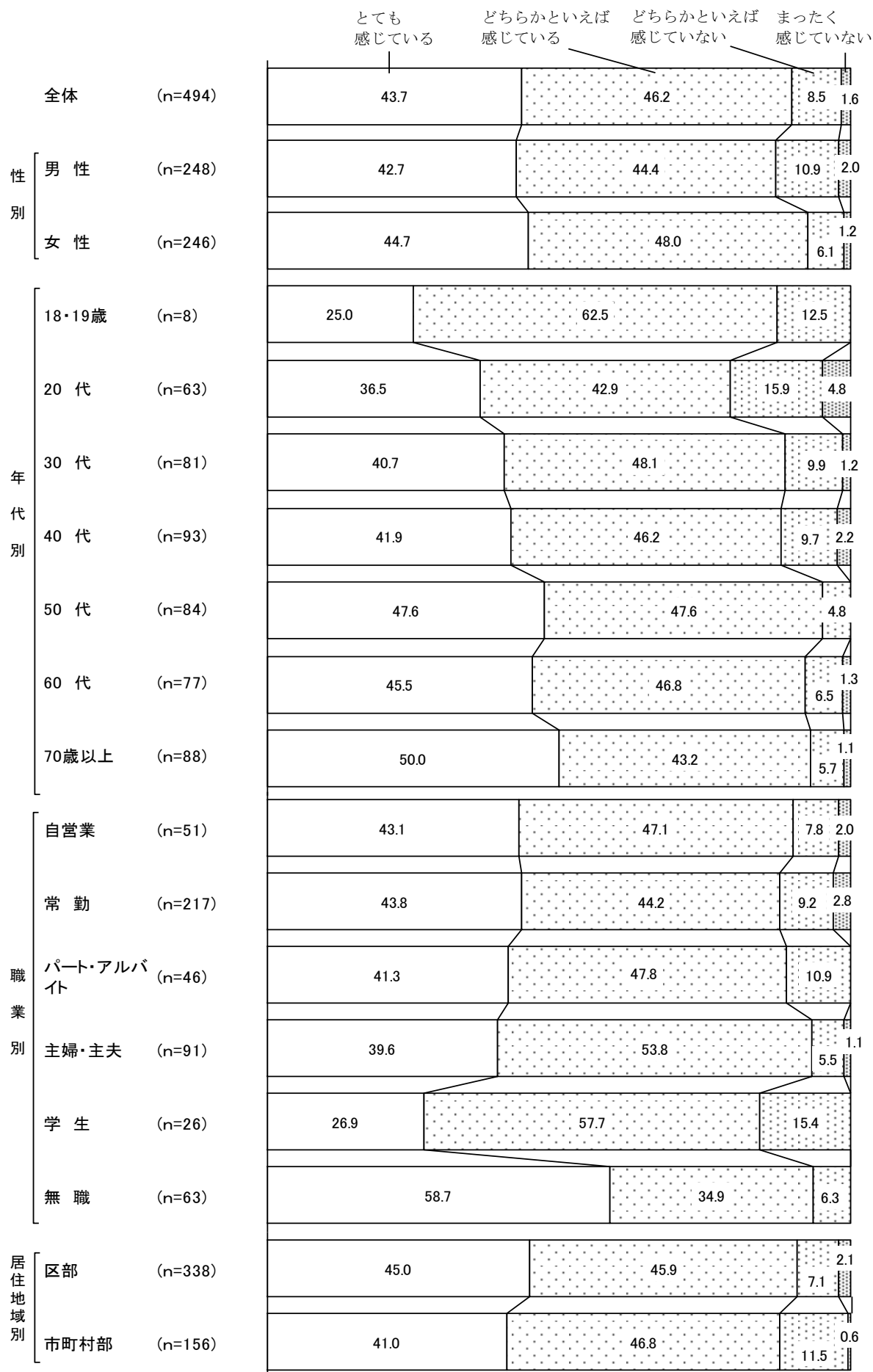


【調査結果の概要】

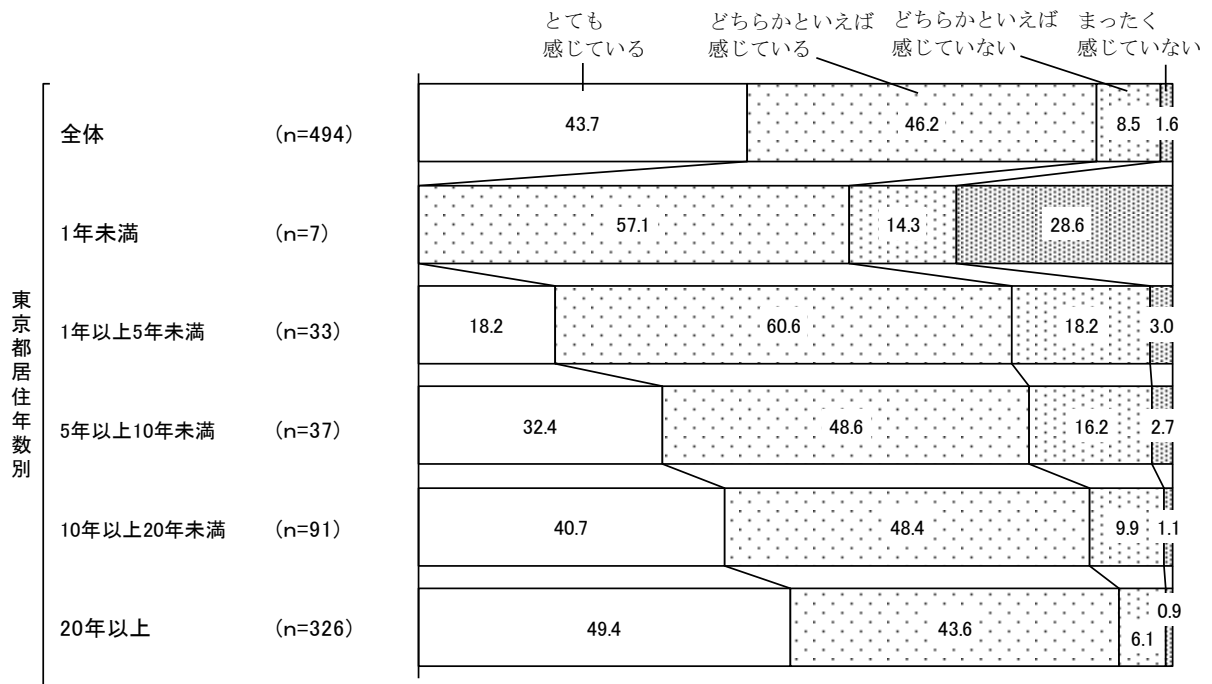
東京に愛着を感じているか聞いたところ、『感じている』(89.9%) (「とても感じている」(43.7%)、「どちらかといえば感じている」(46.2%)) が約9割で、『感じていない』(10.1%) (「どちらかといえば感じていない」(8.5%)、「まったく感じていない」(1.6%)) は約1割であった。

大多数の人が東京に愛着があるとの結果となった。

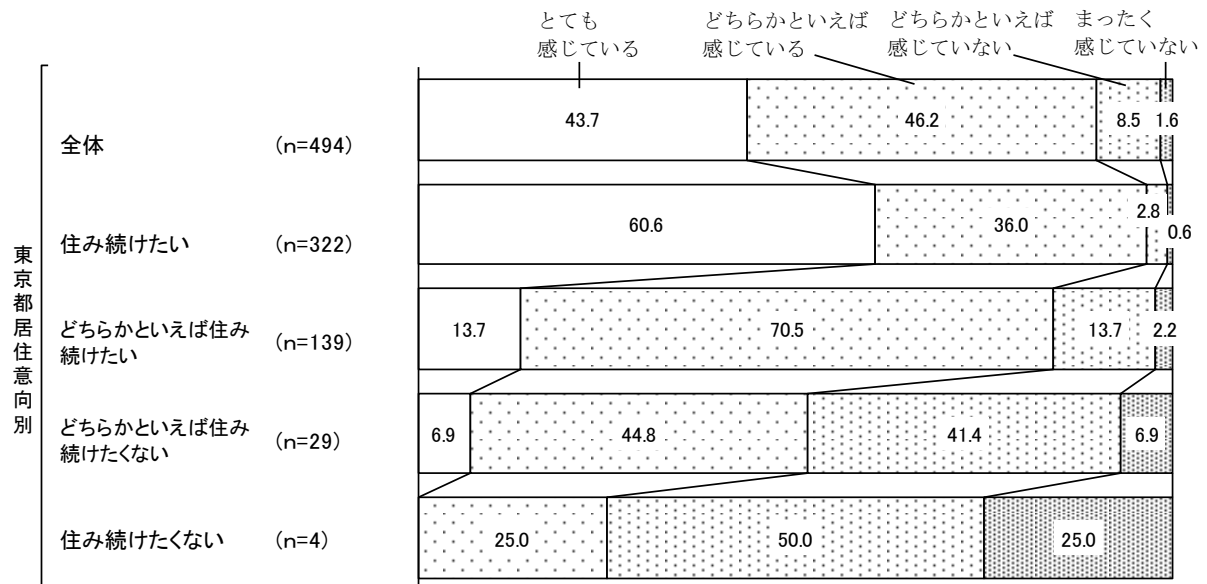
◎東京への愛着（属性別）



◎東京への愛着（東京都居住年数別）



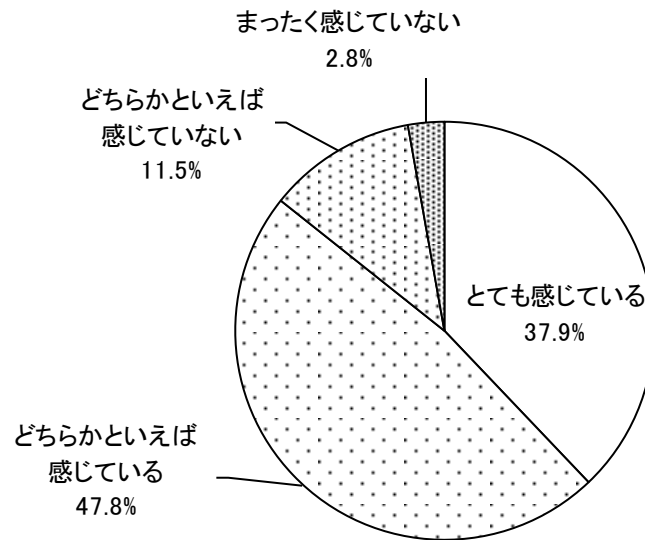
◎東京への愛着（東京都居住意向別）



東京への誇り

Q7 あなたは、都民として、東京に誇りを感じていますか。

(n = 494)

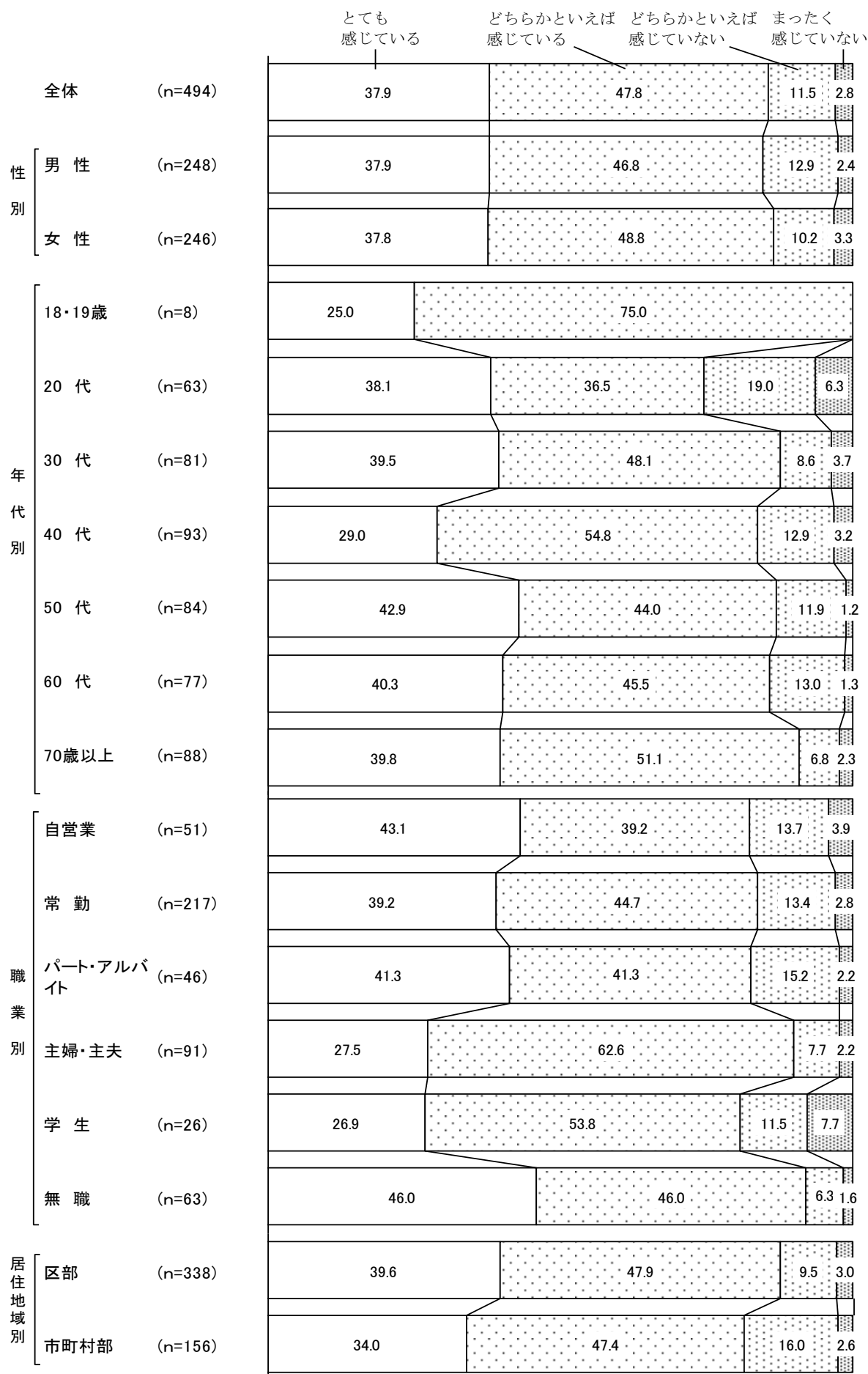


【調査結果の概要】

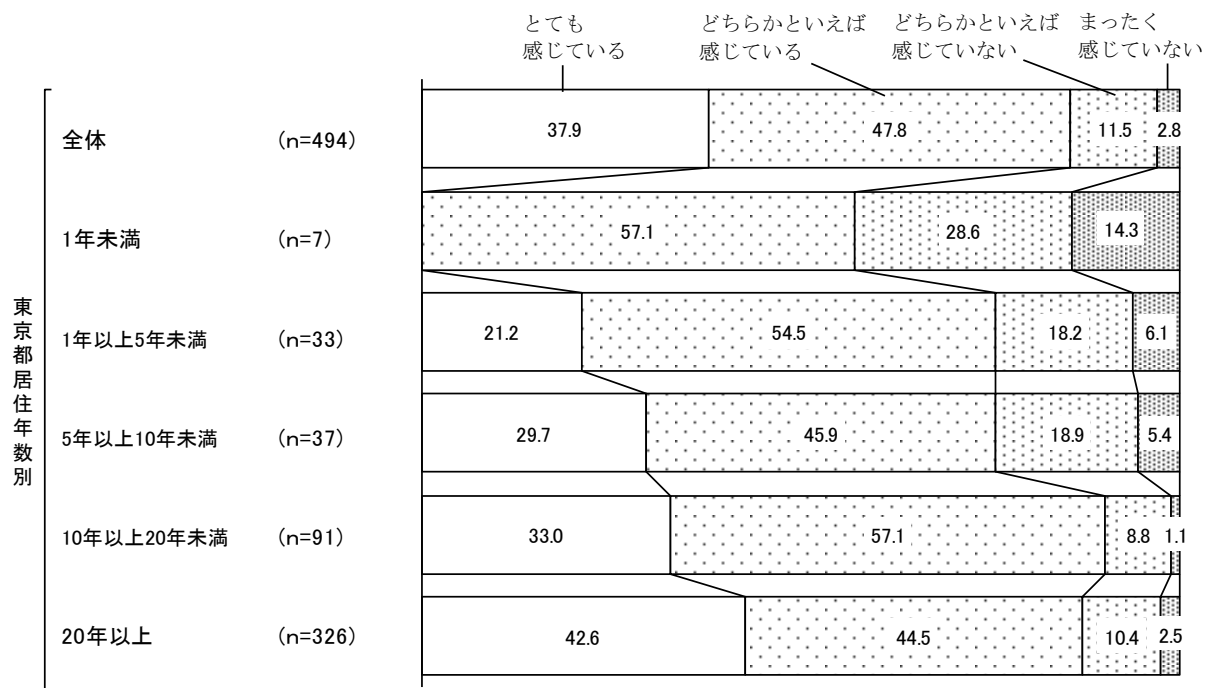
東京に誇りを感じているか聞いたところ、『感じている』(85.7%) (「とても感じている」(37.9%)、「どちらかといえば感じている」(47.8%)) が 8 割半ばで、『感じていない』(14.3%) (「どちらかといえば感じていない」(11.5%)、「まったく感じていない」(2.8%)) は 1 割半ばであった。

大多数の人が東京への誇りがあるとの結果となった。

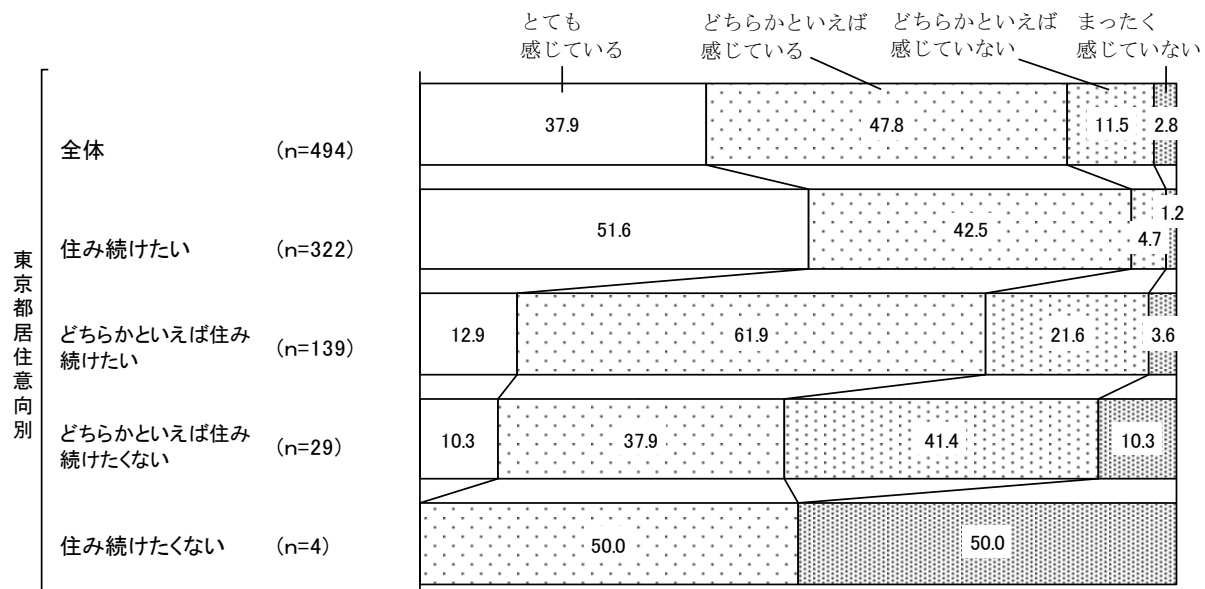
◎東京への誇り（属性別）



◎東京への誇り（東京都居住年数別）



◎東京への誇り（東京都居住意向別）

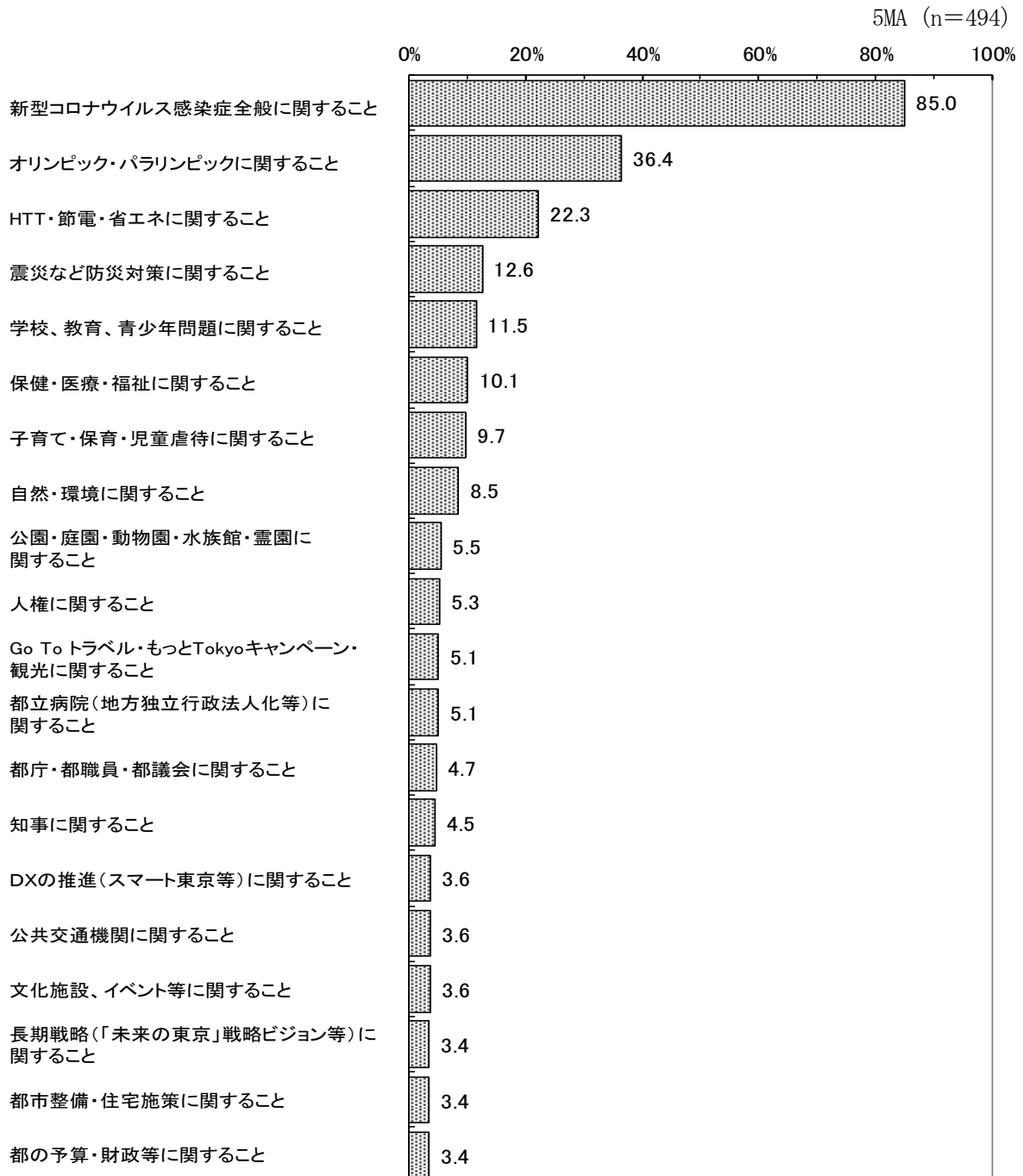


関心を抱いた都政の出来事

Q 8 過去1年間(令和3年8月から令和4年7月まで)で、関心を抱いた都政の出来事(関心を抱いた話題、評価できる施策など)を5つまで記入してください。

注1 集計結果は、対象期間に係る都公式HP(「広報東京都」・「報道発表」)などを参考に、自由記述された都政の出来事を、関連する項目に集約したもの

注2 グラフは、回答者494名が上位20項目を選択した割合



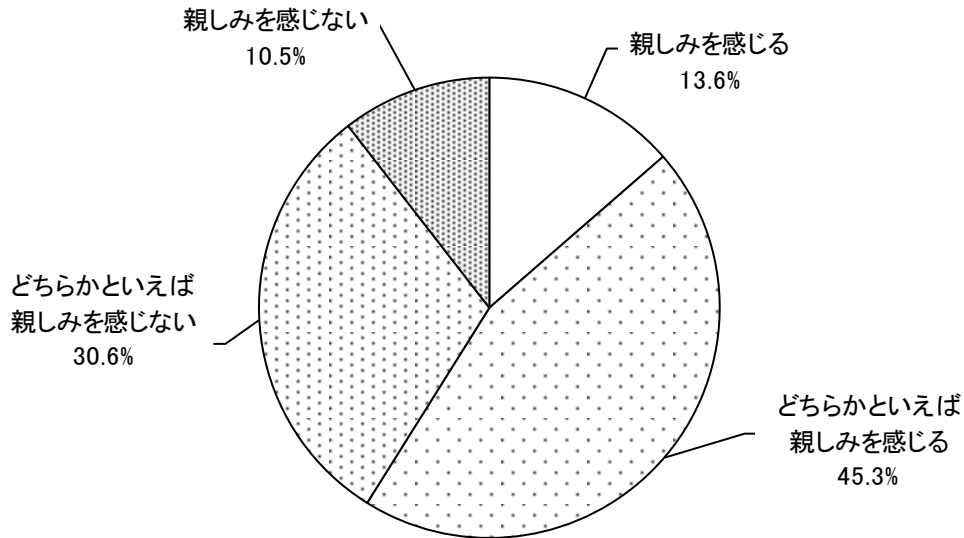
【調査結果の概要】

過去1年間で関心を抱いた都政の出来事について聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症全般に関する事」(85.0)が最も高く、以下、「オリンピック・パラリンピックに関する事」(36.4%)、「HTT・節電・省エネに関する事」(22.3%)などと続いている。

都政の親近感

Q 9 あなたは、最近の都政に親しみを感じますか。

(n = 494)



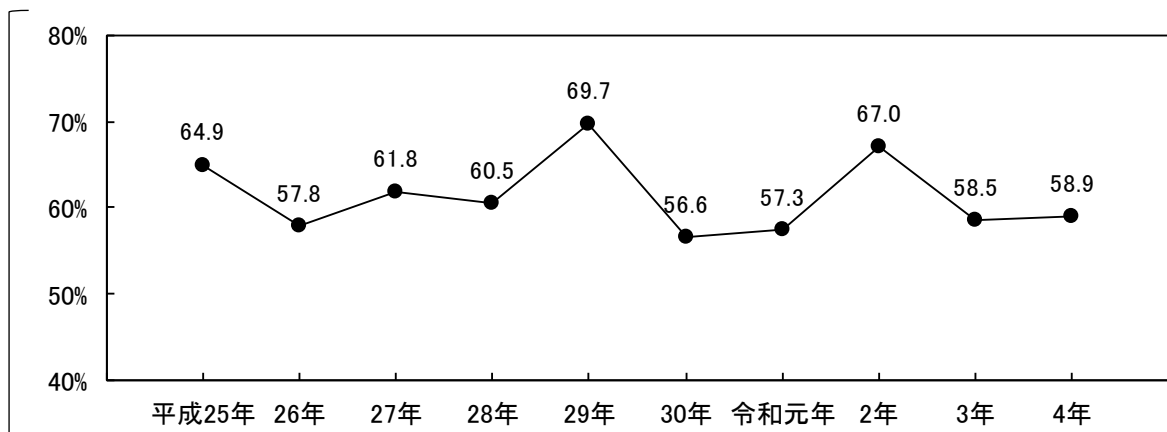
【調査結果の概要】

最近の都政に親しみを感じるか聞いたところ、『親しみを感じる』(58.9%) (「親しみを感じる」(13.6%)、「どちらかといえば親しみを感じる」(45.3%)) が6割近くで、『親しみを感じない』(41.1%) (「どちらかといえば親しみを感じない」(30.6%)、「親しみを感じない」(10.5%)) は4割超であった。

過半数の人が最近の都政に親しみを感じるとの意見であった。

経年変化では、前年度に比べて『親しみを感じる』は0.4ポイント増加で、ほぼ横ばいとなった。

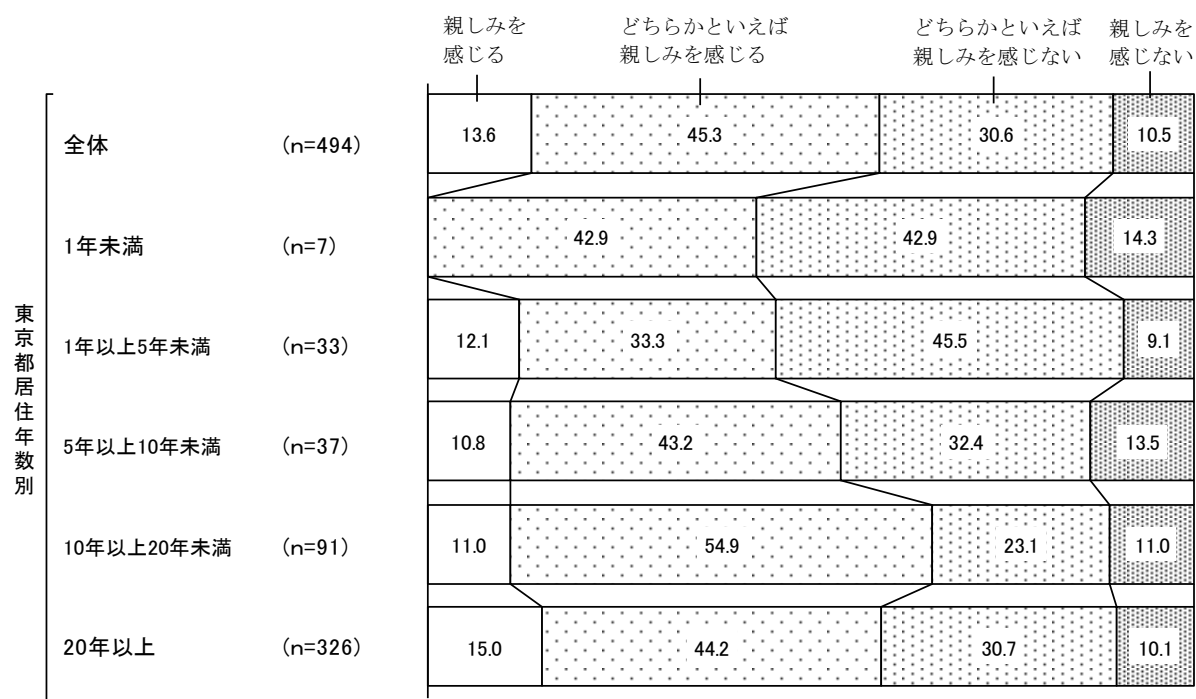
◎最近の都政に『親しみを感じる』の経年変化(平成25年度～令和4年度)



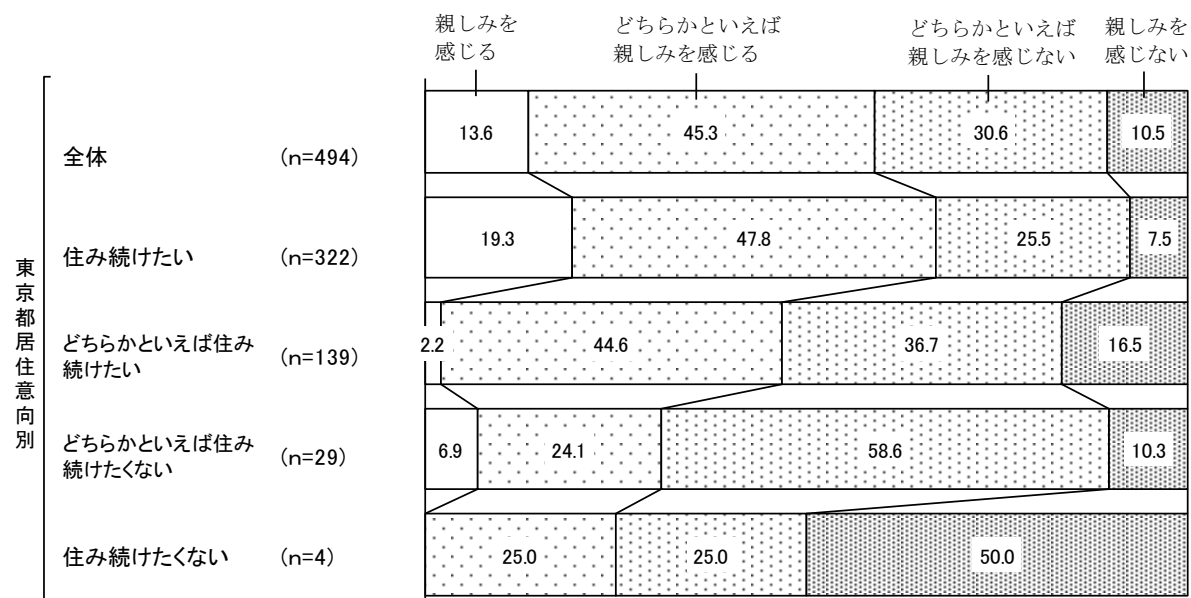
◎都政への親近感（属性別）

		親しみを 感じる	どちらかといえば 親しみを 感じる	どちらかといえば 親しみを 感じない	親しみを 感じない
性別	全体 (n=494)	13.6	45.3	30.6	10.5
	男性 (n=248)	14.5	40.3	31.9	13.3
	女性 (n=246)	12.6	50.4	29.3	7.7
年代別	18・19歳 (n=8)	12.5	37.5	37.5	12.5
	20代 (n=63)	7.9	44.4	34.9	12.7
	30代 (n=81)	14.8	46.9	24.7	13.6
	40代 (n=93)	14.0	45.2	26.9	14.0
	50代 (n=84)	16.7	40.5	34.5	8.3
	60代 (n=77)	14.3	45.5	33.8	6.5
	70歳以上 (n=88)	12.5	50.0	29.5	8.0
職業別	自営業 (n=51)	15.7	41.2	21.6	21.6
	常勤 (n=217)	14.3	41.5	33.2	11.1
	パート・アルバイト (n=46)	15.2	47.8	23.9	13.0
	主婦・主夫 (n=91)	8.8	54.9	33.0	3.3
	学生 (n=26)	11.5	38.5	38.5	11.5
	無職 (n=63)	15.9	49.2	27.0	7.9
居住地域別	区部 (n=338)	12.7	45.3	30.2	11.8
	市町村部 (n=156)	15.4	45.5	31.4	7.7

◎都政への親近感（東京都居住年数別）



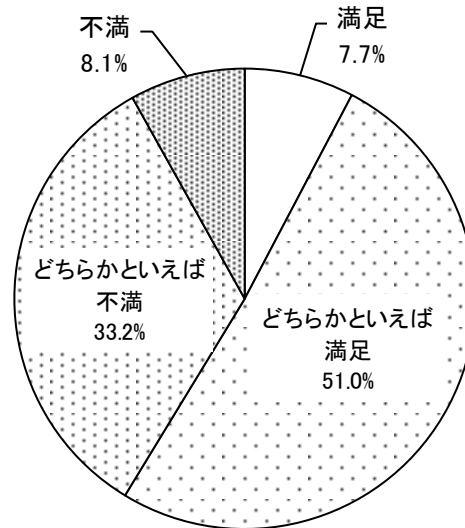
◎都政への親近感（東京都居住意向別）



都政の満足感

Q10 あなたは、最近の都政に満足していますか。

(n = 494)



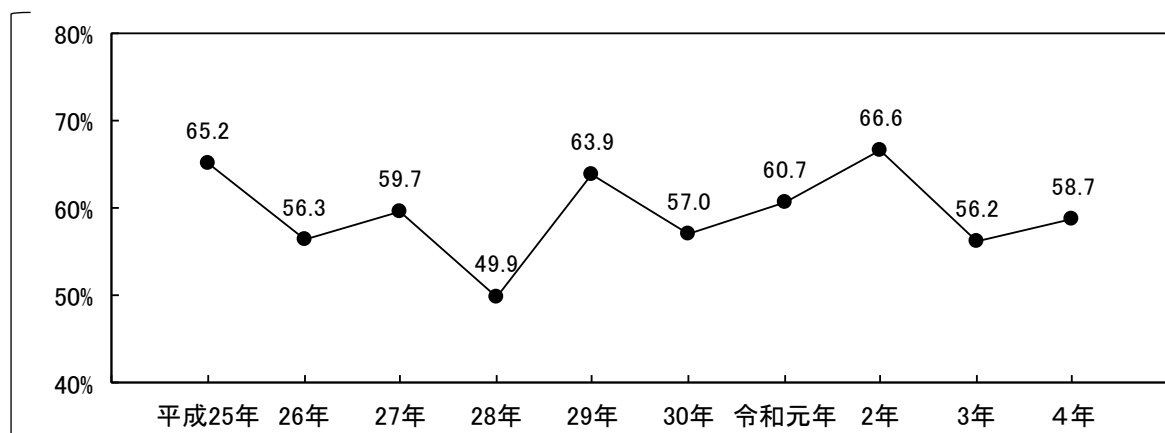
【調査結果の概要】

最近の都政に満足しているか聞いたところ、『満足』(58.7%) (「満足」(7.7%)、「どちらかといえば満足」(51.0%)) が6割近くで、『不満』(41.3%) (「どちらかといえば不満」(33.2%)、「不満」(8.1%)) は4割超であった。

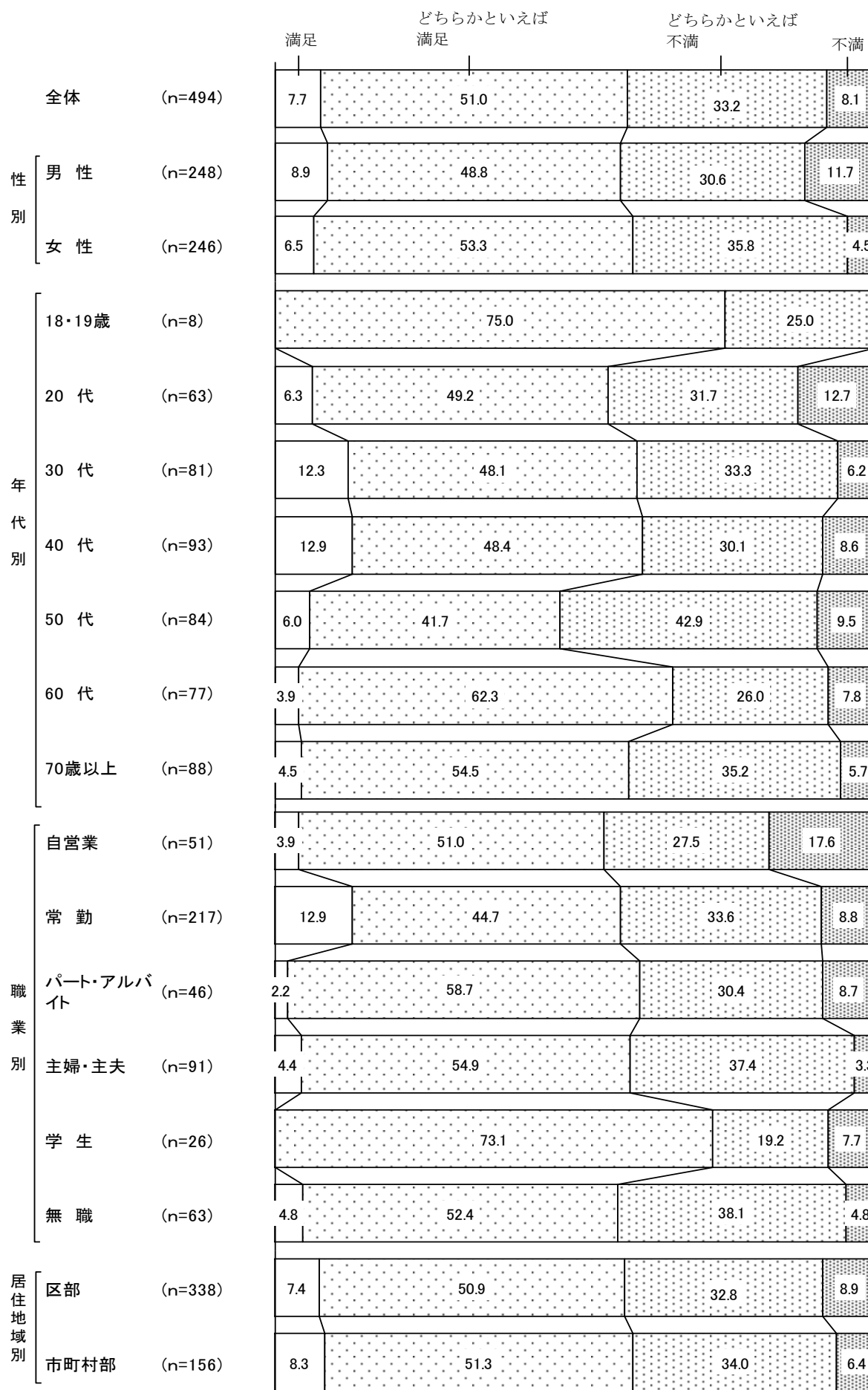
過半数の人が最近の都政に満足しているとの意見であった。

経年変化では、前年度に比べて『満足』が2.5ポイント増加し、前年度の下降傾向から上昇に転じた。

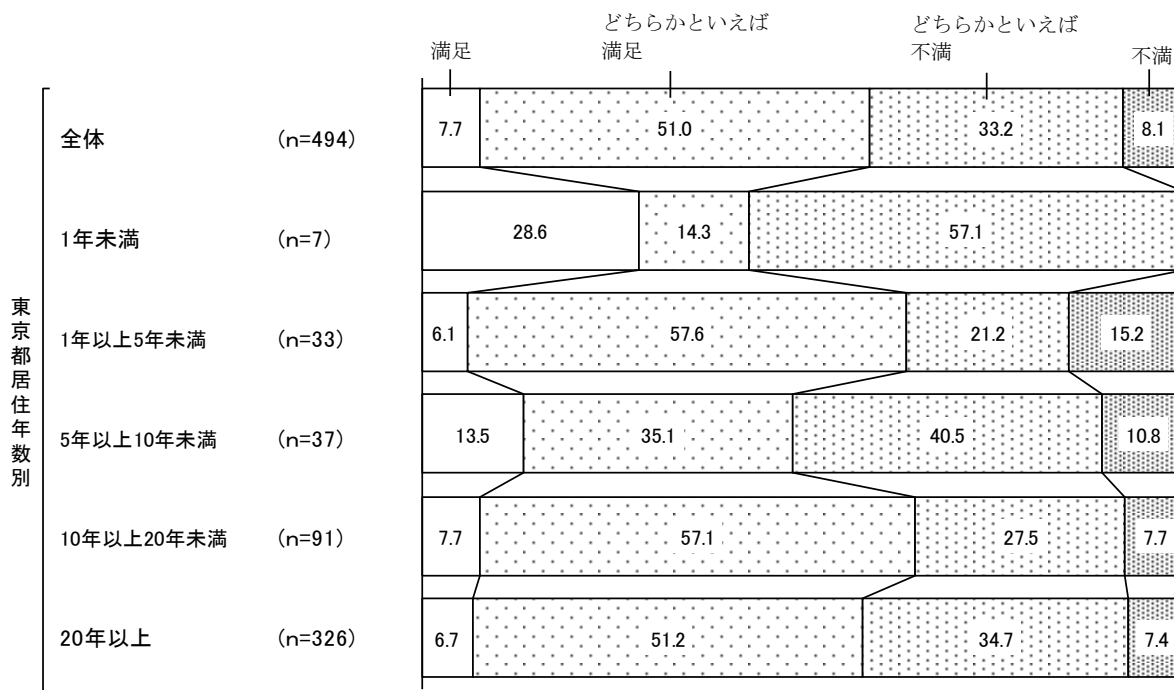
◎最近の都政に『満足』の経年変化 (平成25年度～令和4年度)



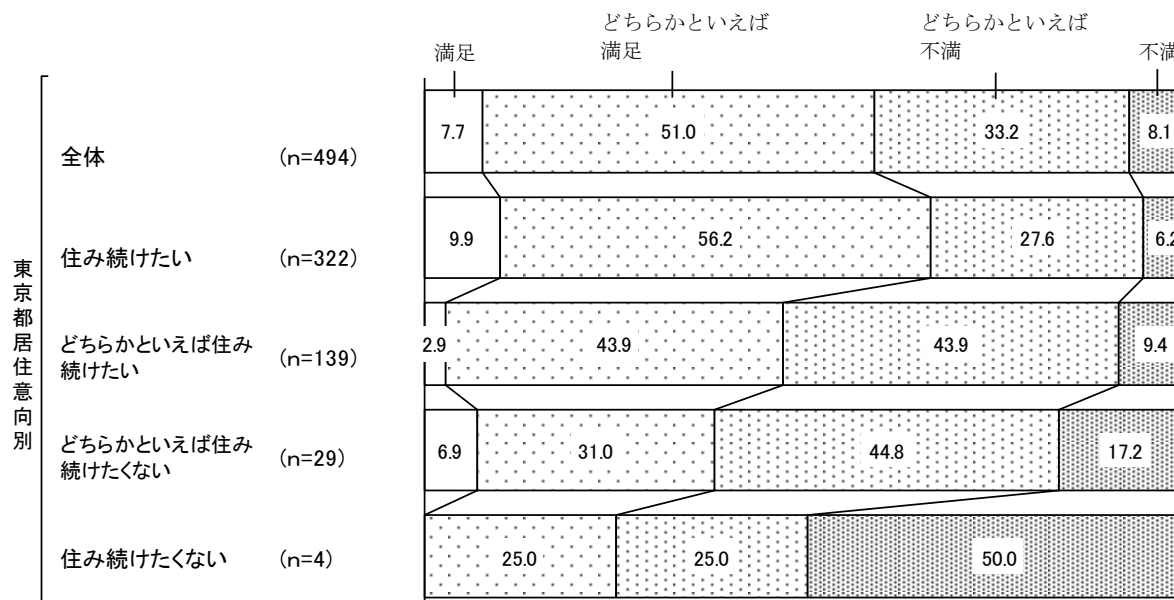
◎都政への満足感（属性別）



◎都政への満足感（東京都居住年数別）



◎都政への満足感（東京都居住意向別）



満足の原因

Q11 Q10で「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した方に伺います。
満足している理由を簡潔にお答えください。

(n=287)

(1) 知事の都政運営	75件
(2) 生活のしやすさ(都政に不満はない)	72件
(3) 個々の政策に対する評価	59件
(4) 新型コロナウイルス感染症全般に関すること	49件
(5) 身近で分かりやすい都政	19件
(6) 行政サービスの充実	8件
(7) その他	5件

(主なご意見)

(1) 知事の都政運営 75件

- 小池都知事は情報発信力があるので安心します。(女性 20代 世田谷区)
- 全国のお手本となるよう、首都として全国に先駆けた対策や施策を行っているから。(男性 30代 葛飾区)
- 都知事の発言をニュースなどで目にする機会が増えた印象があります。分かりやすく都民に対して伝えてくれていると思います。(女性 40代 小金井市)
- コロナ対策もそれなりに講じられており、ここ数年の対策の様子を見ていると、状況に応じて臨機応変に対応してもらえると安心感がある。都知事はリーダーシップを発揮し、首都圏の知事と連携して国に対しても政策提言や要望をしっかりと出しており、頼りになると感じる。
多摩地域や島しょ部の産業振興や観光、都市農業の政策など、東京の資源を上手に活用していこうという政策が実現しつつあり、今後も楽しみにしている。(女性 50代 港区)
- 世界的に見て、東京という大都市で、これだけの多くの人たちが住んでいる首都で、交通・防災・治安・医療等々の問題を抱えていて、それらを良い方向に解決していくことは大変苦勞があると思います。都知事をはじめ、都議や都政に携わる職員が丸となって取り組んでいるからこそ、都民は安心して暮らしていけるのだと思っています。(男性 50代 八王子市)
- 東京を魅力的な街にするため、様々な取り組みを行っているから。(女性 60代 三鷹市)
- 中長期の課題と現在直面している課題に真剣に取り組まれている姿勢を感じられるから。(男性 70歳以上 調布市)

(2) 生活のしやすさ（都政に不満はない） 72 件

- 今の生活を続けている中で、特に不満を感じることはないからです。
(女性 30代 小金井市)
- 特に不安、不自由を感じずに家族で生活できていることです。
(女性 40代 府中市)
- 私たちが住みやすい生活対策が行なわれていて、安心、安全に日常の生活を送ることができるから。
(男性 60代 中野区)
- 地方に住んだことがあるが、医療・交通・住居等が充実している。
(女性 60代 武蔵野市)
- 治安維持や災害（東京は他県に比べて少ないということもありますが）の心配もなく、安心して多くの文化活動に触れることができ、学ぶ気力と体力さえあれば、様々なことに参加できるのは、便利な東京ならではでしょう。
(女性 70歳以上 大田区)

(3) 個々の政策に対する評価 59 件

- 様々な問題がありますが、新型コロナウイルスに対して、ワクチン接種の推進のために大規模接種会場を設置して受ける機会を増やしたり、積極的に情報発信をしてくださっているのは、満足しています。
また、現状の行政サービスが維持され、高校生の医療費やLGBTの方々のパートナーシップ宣誓制度の創設等、福祉や社会的少数者への配慮もあり、良いと思います。
(男性 20代 新宿区)
- 都市計画において、時代に対応した技術を導入したり、緑豊かな都市づくり・災害に強い都市づくりを行おうとしている意図を感じるから。
(男性 20代 練馬区)
- 政策として、文化・芸術の重要性も認識されているように感じるため。
(男性 30代 大田区)
- 子育て世帯に対する生活支援が非常に有意義で満足しています。
(男性 40代 町田市)
- 新型コロナ感染対策を万全にして、東京オリンピックを成功させたこと。
(女性 70歳以上 足立区)

(4) 新型コロナウイルス感染症全般に関すること 49 件

- 新型コロナウイルスに対して、最後まで厳しいレベルで対応してくれた。医療従事者として、ありがたかった。
(女性 30代 中央区)
- コロナ禍で、何かを申請したり問い合わせたりすることが多くなり、その際の対応が良かったため。
(女性 40代 大田区)
- コロナ社会になり、私は会社で助成金申請の担当になりました。それをきっかけに、テレビなどで発信している以上に東京都が私たちにたくさんの方で助成してくれていることを知りました。とても満足しています。
(女性 40代 江戸川区)
- 新型コロナ対策など、迅速に対応してくださり、ワクチンなど希望して受けることができたから。
(女性 50代 国分寺市)
- 東京独自の施策を提示したりと、新型コロナ対策に取り組む姿勢に満足感がある。都庁でワクチン接種をしたが、丁寧過ぎるくらいの対応で出向いた甲斐があったと感じた。
(女性 60代 府中市)

(5) 身近で分かりやすい都政 19 件

- メディアであまり紹介されませんが、イベントが盛りだくさんですし、無料参加できる公開講座が充実している。様々な種類の広報紙があつて、各人が興味のある情報を知ることができて便利。最近、都のポータルサイトの My TOKYO がいいなと感じています。興味がある情報を手早く探せるため。
(女性 40代 墨田区)
- 広報で見るお知らせが分かりやすく書いてあることです。特にコロナ関連では、ワクチンの情報や感染の疑いがある場合などの欲しい情報が大きく目立つように書いてあり、思い出しやすいです。
(女性 40代 板橋区)
- 情報発信が早い。ただ、あまりに多くて把握するのに時間が掛かる。
(女性 70歳以上 江東区)

(6) 行政サービスの充実 5件

- 医療福祉教育に関しては地方よりサービスが充実していると思う。子供の将来や自身の老後を考えると、このまま住み続けたいと思えるから。

(女性 30代 品川区)

- 公共サービスの充実、図書館が豊富、行政窓口の対応が比較的早い。

(男性 40代 新宿区)

不満の理由

Q12 Q10で「不満」、「どちらかといえば不満」を選択した方に伺います。
不満の理由を簡潔にお答えください。

(n=204)

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 個々の政策に対する意見 | 67件 |
| (2) 新型コロナウイルス感染症対策 | 53件 |
| (3) 知事の都政運営 | 35件 |
| (4) 都政の分かりやすさ | 32件 |
| (5) 財政支出のあり方 | 10件 |
| (6) その他 | 7件 |

(主なご意見)

(1) 個々の政策に対する意見 67件

- 中小企業に対する補助金政策に関心を持っているが、補助金の規模、特に下限額などが高い。より小規模の個人事業主などをも想定した補助金のメニューがあるとうれしい。
(男性 20代 大田区)
- ここ1～2年は新型コロナウイルスへの対応が主だったこともあるが、それ以外の政策で身近に改善や影響を感じられることが少なかったため。
(女性 30代 品川区)
- 子育てや高齢者など、特定の人に対する取組が多く（それらもちろん必要なことは理解しているが）、自分には直接関係ない取組が多いため、割に合わない感がある。東京という街が良い街となるような取組をしてくれれば、この街に住み続けたいと思えるだろうと感じる。
略語や愛称などで表す政策が多く、具体的にどのような政策なのかが伝わってこない。都度、その略語や愛称が何を示しているのかを確認してから政策内容を見るというステップを踏まなくてはならず、手間が掛かって関心を持ちにくい。
(女性 40代 中野区)
- パフォーマンス的な派手な政策が目につく。良い制度であっても、かなり積極的に知ろうとしなければ受けられない補助などが多いように感じる。
(女性 40代 江戸川区)
- 労働環境について、未だにまん延する「ブラック」な環境。劣悪な条件下で働いている多くの都民に、少しでもゆとりを持たせる政策を企業に対して真摯に取り組んでいただきたい。未来に対する希望が一向に持てない状況が何年も続いている。日本の首都である東京都として、全国の模範、さらには他国に対しても誇りを持てる「東京」にできないものか。
(男性 50代 稲城市)

- 日本の抱える少子化と女性の活躍に関しては、女性を長とした中で、もっともっと推進していただきたい重要な課題である。大きな前進が見られないのが残念です。
(女性 70歳以上 杉並区)
- 少子高齢化により高齢者人口が増加していることは事実ですが、地方ほどではないにしても、車の免許返納は必要と思いますが、物価が高い分、交通費もままならない高齢者にも生きやすい世の中にしてほしいと思います。物価の高騰が日々の生活を圧迫しています。
また、子育て支援に対して、低年齢向けの子育て支援もですが、中高校生くらいのヤングケアラーの問題も真剣に取り組んでほしいと思っています。
(女性 70歳以上 立川市)

(2) 新型コロナウイルス感染症対策 53件

- 新型コロナ対策が場当たりので、学生ばかり自粛を強制された印象。学生へのバックアップが希薄だと感じる。
(女性 10代 中野区)
- 障害者にも分かりやすい新型コロナの情報の不足。
(男性 20代 清瀬市)
- 感染症対策が重要視されてきたことは理解するが、2年半経って、未だに日々の感染者（検査の陽性者）に一喜一憂するような情報の出し方に辟易している。
(女性 40代 目黒区)
- 新型コロナ感染者数が激増している中、なぜ3年目に入っているのにこれまで蓄積されたデータを活用して、先手先手の対策をしていないのかが不満である。
(女性 50代 葛飾区)
- 新型コロナで疲弊している、病院・保健所・患者への応援が遅い。いくらか穏やかになって来た数か月前に、対策をしておくべきだったと思う。検査キットなどは、その頃から準備して配るような準備ができなかったのか、後手後手の感じがします。
(女性 70歳以上 清瀬市)

(3) 知事の都政運営 35 件

- 都知事が公約を十分に果たしていないため。新型コロナ対策が十分と感じられないため。 (男性 40代 足立区)
- デジタル化による経費削減や効率化で、他の自治体をリードしてほしい。 (男性 50代 杉並区)
- 都のリーダーとしての実績、都民に対する説明が著しく不足しているため。 (男性 50代 板橋区)

(4) 都政の分かりやすさ 32 件

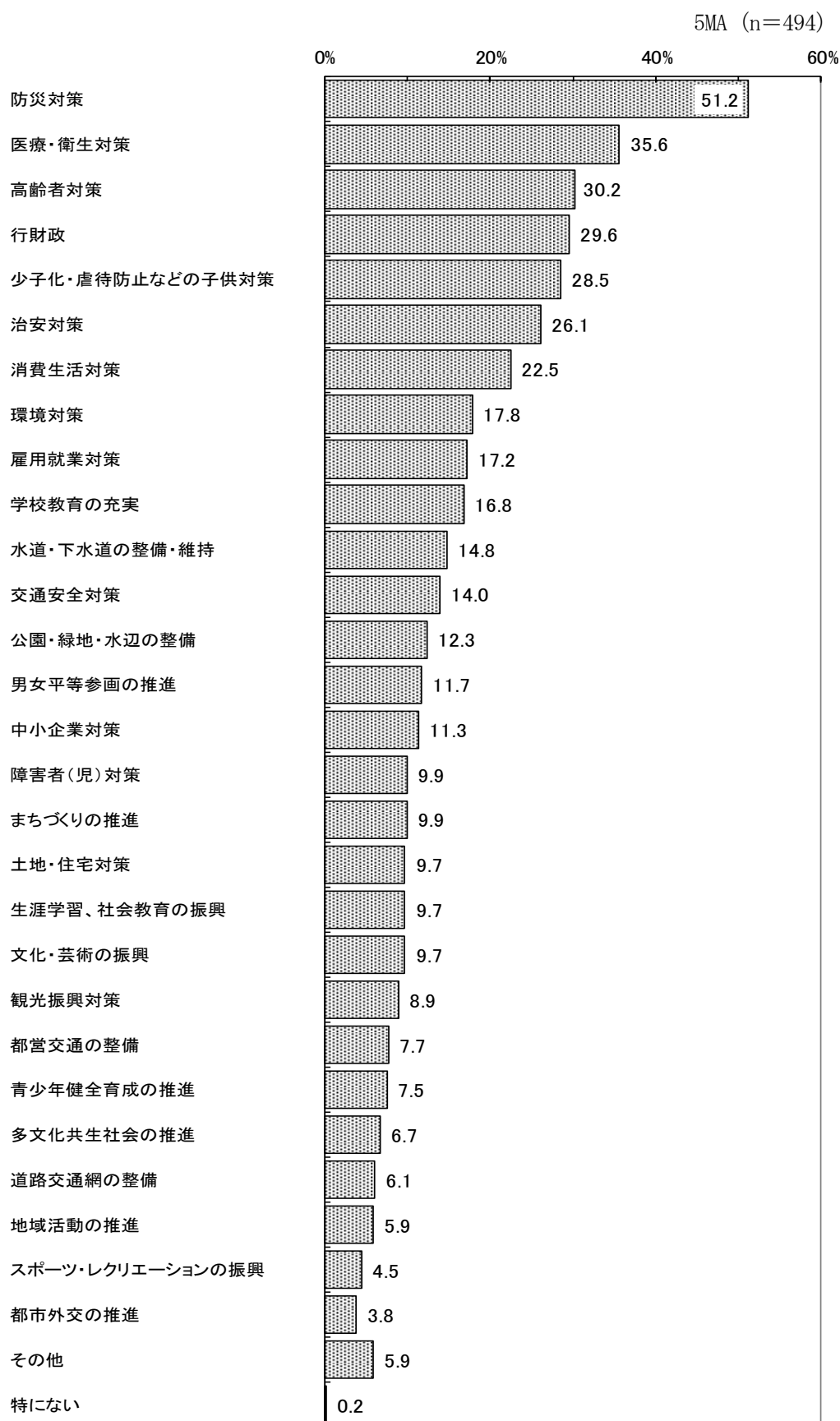
- 自らが都政に興味を持ち、さらにその興味を基に自らが歩み寄りなければ、都政そのものに対しての関わりをあまり感じないところがある。若者にとってそれはとてもハードルが高く、選挙に行くことにもつながらない気がしている。身近に感じなければ不満も何もないと思うので、もう少し若者へのアプローチがあればうれしいと思う。 (女性 20代 品川区)
- PDCA (計画・実行・評価・改善) での情報発信がなく、何をやっているのか、なぜやっているのか、結果はどうで、そこからどう次につなげていくのかなど含め、全く分からない。 (男性 40代 台東区)
- 「都」の役割が分からない。身近な問題は「区」の担当と言われるが、区による行政サービスのレベル差が非常に大きいのに、その解消に都は関与しない。
「都立」の施設・教育機関等の運営やインフラ以外に、都は我々の生活の中の何に関与しているのだろうか。広報東京都や都議会だよりを見ても、イベント情報や各部署からの単発的な情報発信のみで、全体像が見えないし、メッセージも感じない。どういった都市になっていきたいのか方向性も全く分からない。
「知りたいなら自分で調べろ」では、あまりに不親切と思う。 (女性 50代 中央区)

(5) 財政支出のあり方 10 件

- このコロナの時期、人も金も限られているのだから、使い方の優先順位を真剣に考えて使ってほしい。 (男性 60代 渋谷区)
- 税金の使い方を厳密化してほしいです。新型コロナ対策の助成金や現在実施している無料検査など、かなり無駄があると思われます。 (女性 60代 足立区)

東京都が取り組むべき分野

Q13 あなたは、今後、東京都が最も力を入れて取り組むべき分野は何だと思いますか。
次の中から5つまで選んでください。



【調査結果の概要】

今後、東京都が最も力を入れて取り組むべき分野は何か聞いたところ、「防災対策」(51.2%)が5割を超えて最も高く、以下、「医療・衛生対策」(35.6%)、「高齢者対策」(30.2%)などと続いている。

◎ (参考) 東京都が取り組むべき分野 過去3か年調査の比較 (上位10項目)

